



碧南ロータリークラブ週報

第3034回例会 令和4年11月16日(水)

- 会長 長田 和徳
- 幹事 清澤 聡之
- 会場監督(SAA) 樺山 朋久

2022-2023 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 鈴木 洋・長田一希・杉浦保子

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

碧南市藤井達吉現代美術館 学芸員 豆田誠路様

会 長 挨 拶

失礼します。

本日、長田会長は商工会議所の会頭の役目で東京に出張しております。ということで、早々に私の出番がきました。私は話し下手なので、お聞き苦しい点があると思いますが、よろしくお願ひします。



平松則行副会長

本日のビジターのテーマ「史料にみる三英傑と碧南」ということで、私も「外から見た碧南」ということをお話しさせていただきたいと思ひます。

私は碧南生まれの碧南育ちで、40歳まで碧南におりました。そして、訳あって半田に転居しました。半田にいた時に半田と碧南はかなり違うんだなあということで、尾張と三河の違いをつくづく感じました。半田の方と話しているとすぐに「川向こうか？海向こうか？」って言うんです。半田の方は碧南をよその国を扱うような言い方をされます。では碧南はというと、私の父親も大浜生まれですけども、そんな話はあんまりなかったそうです。

半田から碧南を見ると、ファッションというのか、そういうものがかなり違う気がします。碧南は地味ということで、ファッション性のある商業は発展しておりません。半田はというと、人口の割にかなりそういったものが発展しております。ある時に金融機関で働いている方に「何で碧南は金融機関の支店が多いのか？」と聞いたら、碧南は預金のできる支店で、半田は貸付の支店ということを知った記憶があります。碧南の方は地味ですけどもお金を持っていて、半田の方は派手ですけどもあんまり金を持っていないはずですよ。

それから、よその地へ行って、碧南を説明する時に皆さんも困ったことがあるんじゃないかと思います。私なんかは碧南をどう説明するかというと、「名古屋です。」と言っちゃうんです。名古屋を知っている方だと「名古屋のどこですか？」と言われると困るんです。その時は「名古屋から南の方へ1時間ぐらい行ったところです。」というはぐらかすような言い方をします。刈谷や安城、岡崎は他県の方もよく知って見えるようです。

そんなことで、外から見た碧南というのは、やや寂しい思いがします。地道な碧南ですけれども、今現在は大きな商店なども増えております。是非、ロータリーメンバーから碧南を塗り替えるような方が出てほしいものです。

以上です。ありがとうございました。

幹 事 報 告

幹事報告を申し上げます。

- ・ 第5回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ ガバナー事務所より「メルボルン国際大会日本人親善朝食会開催ご案内」が届いております。
- ・ 国際ロータリー・ロータリー財団より「End polio Now」(ポリオ寄付)の感謝状が届いております。



清澤聡之幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 60 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 12 名) 出席者 51 名	
出席対象者 51 / 57 名	出席率 89.47%
欠席者 9 名 (病欠者 1 名)	

<ニコボックス>

- 長田 和徳君 } 地区大会御出席の皆様、ありがとうございました。おつかれ様でした。牧
平松 則行君 } 野さんありがとうございました。
清澤 聡之君 }
- 平松 則行君 地区大会では、皆様にご心配かけました。牧野さんには家までの送り、ありがとうございました。
- 清澤 聡之君 碧南市藤井達吉現代美術館 学芸員 豆田誠路さん、本日の卓話、楽しみにしていました。
- 加藤 良邦君 御無沙汰してます。去る11月3日秋大祭、お陰様にて天候にも恵まれ無事に終る事が出来ました。深く感謝致します。

- 杉浦 勝典君 11月10日の3クラブRCクラブのゴルフコンペで、3クラブ3位、RCは優勝する事が出来ました。好天のもと同伴者と楽しくゴルフが出来たのが良かったです。前半37、後半44、計81グロスが初めてで嬉しかったです。これからもエージシュートを達成するよう頑張ります。ありがとう。
- 木村 徳雄君 11月1日、商工会議所総会にて鈴木会頭から長田会頭になられました。木村は卒業の単位不足にて留年になりました。3年間、長田会頭のもと支えさせて頂きます。卒業できる様頑張ります。
- 栗津 康之君 11月8日より我が社は、新体制でのスタートとなりました。今にもましてご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。
- 杉浦 保子君 地区大会反省会、ありがとうございました。
- 岡島 晋一君 11月13日、RI地区大会と同じ日にはなりましたが、碧南消防署にて碧南市消防団操法大会が無事おこなわれました。長田会長や歴代団長には大変お忙しい中、御臨席賜わり、誠に有難うございました。3年ぶりの開催でしたが、大変盛況におえる事が出来ました。有難うございました。
- 長田 康弘君 本日の卓話講師の豆田誠路さんを紹介します。
- 石川 鋼勇君 先日、碧南JCじゃがいもクラブで8年ぶりに優勝させて頂きました。ゴルフを辞めなくて良かったです。鈴木洋君も頑張っ！
- 小林 清彦君 11月から商工会議所サービス業部会議員を拝命致しました。少しでもお力になれるよう、頑張ります。

卓 話

「史料にみる三英傑と碧南」

碧南市藤井達吉現代美術館 学芸員 豆田誠路様



豆田誠路様

只今ご紹介いただきました碧南市文化財課の豆田と申します。本日はこのようなお時間をいただきまして、ありがとうございます。お時間の中で精一杯お話をさせていただきます。よろしくお願い致します。

今年に入りまして、私の身の回りでもNHKの大河ドラマの件でざわざわしてまいりました。碧南とどんなご縁があったのかということ問われる場面も増えてまいりました。放送開始は来年の初旬になりますので、今回ご依頼いただいたのもそんなご縁があつてなのかなあと思っております。そんなことで、NHKの大河ドラマ「どうする家康」の放送前に今日のようなお話もお聞きいただければと思っております。よろしくお願い致します。

最初は「織田信長と碧南」ということで、「織田信長の初陣の地・大浜」ということをお話したいと思えます。「信長記」と言ひまして、織田信長の家来がずっと動向を書き付けたものになりますけれども、そこには次のように書いてあります。

「天文十五年吉法師殿十三ノ御歳、彼四人御供申、古渡ノ城ニテ御元服アツテ、織田三郎信長

トソ申ケル、翌年軍始アラントテ駿河国より勢を籠置シ三川国吉良大濱へ推寄、在々所々一宇モ不残放火メ其日ハ野陣をカケラレ翌日古野ニ引帰シ給フ」

天文 15 年に信長に付けられた 4 人と名古屋城の近くにある古渡城というところで元服をして、織田信長と名乗るようになります。翌年に初陣をしようということで、駿河国（現 静岡県東部）から今川方の吉良大浜へ信長が押し寄せ、諸所を放火した。そして、その日は野営して、次の日に名古屋に帰った。ということであります。

この時に大浜を守っていた武将は長田家になります。天文 19 年に今川義元が長田喜八郎に与えた大浜上の宮熊野社の社領安堵状には「松平竹千代知行大浜…」とありますので、大浜が数え 9 歳で今川義元のお膝元である駿府（現 静岡市）に送られていた松平竹千代（後の徳川家康）の所領であることがうかがわれます。

この話は史料としてはこれ 1 つなので、よくこの史料が使われるんですが、地元の伝承としては「碧南の民話」に記されております。

2 つ目は「豊臣秀吉と碧南」ということで、「朝鮮出兵の大船建造伝承・称名寺」ということとお話ししたいと思います。これは先に申しますと、豊臣秀吉と碧南の関連というのは直接は厳しいんですが、結果として豊臣秀吉の家来の田中吉政の命令によって大船を建造して、そこが称名寺だったという話になります。称名寺に残されている史料には次のように書いてあります。

「寺領惣高五町八反、外二山林八町今林共ニ二ヶ所御座候所 太閤公右之寺領山林共ニ被落置、其節三州西尾之城主田中兵部少唐入之船造作之刻、本堂之ねた切落鍛冶屋ニ被致、其後大風ニ而吹破、終ニ退転仕由古来方申伝御事、又々延宝三二月消失ス、コトニ印置者也、正保四年 称名寺」

称名寺の所領は全部でこれだけありますということが書いてありまして、恐らく秀吉の時代にそれをかなり削られたのではないかと思います。この時に西尾の城主であります田中吉政が朝鮮出兵の船を作る時に称名寺の本堂の根太を切り落として、そこを鍛冶場にしまして、その後、どうしようもないところまでできてしまったことを古来より申し伝えてあります。ということであります。

こういって直接、秀吉がきたという訳ではないんですけれども、確かにその影響というのはあったと思われまます。

3 つ目は「徳川家康と碧南」ということで、今回ご紹介するのは「竹千代命名伝承・称名寺」と「神君伊賀越えの上陸地」という 2 つのテーマです。初めに「竹千代命名伝承・称名寺」のお話をさせていただきます。恐らく大河ドラマではこの辺りは触れられないかと思います。ただ、大浜の伝承では次のように書いてあります。

「廣忠様 三州岡崎ニ 被為成御座候刻、御夢想神々のなかきうき世をまもる哉ト 如此御夢想御覽被為遊、則其刻ハ於称名寺月次之連歌執行申候故、右之御夢想 於当寺御開被為遊、則称名寺現住 つゝきハひろきそのゝ千代竹と御脇仕候由、従古来申伝御事」

父親の松平広忠が岡崎城主であった時に夢で「神々のながきうき世を守るかな」という歌を見ました。この時は毎月、称名寺で連歌会が催されておりました。そういったことから、称名寺で夢を見たことに関連する連歌会を催してはということになりました。そこで連歌会を開

いた訳ですが、当時の住職は「めぐりは広き園の竹千代」という句を付けて差し上げました。このように古来より申し伝えてあります。ということでもあります。

連歌というのは和歌の5・7・5・7・7を何人かで繰り返していくもので、例えば、最初の人5・7・5と歌えば、次の人はその歌の意味を読み取って7・7と歌います。次の人は7・7を受けて5・7・5と歌います。このように当時の連歌会は100繋げることで1つ完結する形になります。この連歌というのは和歌ではあるんですが、殿様と家来が円滑に関係を結んだりする有力なキーになるものになりまして、よく連歌会が催されておりました。戦国時代は戦いだけではなくて、和歌のたしなみも教養の1つになっておりました。

続きまして2つ目ですが、

「廣忠様ヨリ御硯箱御文台、右之ニ辺称名寺へ被為下置、いまた住物ニ仕置候御事」

この時に連歌会に使われた硯箱と字を書く為の台は称名寺に置いてあるんだけど、未だに称名寺の大物になっています。ということでもあります。

続きまして3つ目ですが、

「権現様御誕生被為遊候へハ 廣忠様右之御夢想ニ被御引合御悦喜ニ被思召、称名寺ニ而御夢想御開被為遊候ニ付く、則住持ニ御名ヲ奉付様ニト 被為仰出候ニ付而、其時之住僧御名ヲ 竹千代様ト右之御夢想之意ニ通シ奉付由申伝候御事、正保四年 称名寺」

家康が誕生したことを父親の松平広忠は大変喜びました。そして、称名寺で連歌会をやってはどうかということになりました。その時に称名寺の住職に家康の幼名を付けるように命じたところ、竹千代様と名付けたと伝えられています。ということでもあります。

これが称名寺に伝わる竹千代様命名の伝承になります。この後、江戸時代になりまして、徳川家が毎年お正月の連歌会を行う時に必ずこのことが意識されました。ですので、こういった形で竹千代様命名の伝承がされております。

「徳川家康と碧南」の2つ目ですが、「神君伊賀越えの上陸地」のお話をさせていただきます。このお話は天正10年5月、徳川家康は駿河拝領の御礼の為に安土城を訪れて、その後、堺にいました。6月2日正午頃、織田信長が明智光秀に討たれたという報に接し、急ぎ帰国の途に着くこととなります。この時のお話で大浜が出てくるんですが、先に結論を申しますと、山中を大急ぎで駆けて、三重県の白子から船に乗って大浜に着いたというふうに言われています。ただ、これは地域によって色々ありまして、地元の皆様から熱い思いを聞かせていただくことがあるんですが、私は大浜というのをお薦めしたいと思っております。それは史料に基づいているところでありまして、「家忠日記」には次のように書いてあります。

「信長之儀秘定候由、岡崎・緒川より申来候、家康者境ニ御座候由候、岡崎江越候、家康いか、伊勢地を御のき候て、大浜へ御あかり候而、町迄御迎ニ越候、穴山者腹切候、ミちにて七兵衛殿別心ハセツ也」

信長親子が討たれたという内容については秘密にするようにという情報が岡崎と緒川から入ってきました。家康は堺にいたんだけど、岡崎に来ます。家康は伊賀、伊勢を退いて大浜に上陸したので、家忠は迎えに行きました。ということでもあります。

ということで、大浜に6月4日には着いていたということが確実なんですが、他の史料との関連でここは色々なお話があります。実際にどういうことかと言いますと、6月2日に

本能寺の変があつて、6月4日には三重県に来ている訳です。そういうことも考えながら、「永日記」を見ていきます。この日記の筆者は永井直清と言ひまして、大浜出身の永井直勝の二男であります。後に摂津高槻藩の初代藩主になっております。ただ、生まれた年をご覧いただきますと、1591年生まれですので、本能寺の変があつた1582年の9年後に生まれております。当時の史料によくあることなのですが、恐らく父親の直勝や一族から色々な話を聞いていたんだと思います。それを書き集めたものだと思いますので、私はこの史料は時間差があるものの、具体的なことが書いてあると思つております。

来年の初旬には大河ドラマが始まりますので、町でも色々な話題が出るかなあと思ひます。その中で1つのご参考にしていただければと思ひます。

長い時間でしたが、どうもありがとうございました。

次回例会案内

令和4年12月7日（水）年次総会

「前年度決算報告・本年度中間報告と、次年度理事役員選挙」